



大阪府

NPO等活動支援による
コロナ禍における社会課題解決事業

令和3年度 公募説明会

本日の流れ

1. 開 会
2. 令和2年度実施3団体の事業報告
3. 令和3年度の公募説明
4. 閉 会

本日の流れ

1. 開 会
2. 令和2年度実施3団体の事業報告
3. 令和3年度の公募説明
4. 閉 会

NPO等活動支援によるコロナ禍における社会課題解決事業について

新型コロナウイルス感染症の影響で顕在化した社会的な課題に対し、民間資金提供先と大阪府が連携してNPOを支援し、課題解決を図る事業を実施中

事業スキーム



コロナで
顕在化した
社会的課題



課題解決



必要なサポート
情報発信 など

釜ヶ崎支援機構 HELLO life with NPO

大阪府



連携

計画提案

資金提供



The Murakami Family Foundation

資金提供先

大阪府

村上財団

NPO等の活動の情報発信
解決に向けた必要なサポート
モデル事業の普及促進

社会課題の解決をめざす
NPO等の活動を支援

NPO等への資金提供
クラウドファンディングなど
資金集めへの助言



誰一人取り残さないというSDGsの理念を実現



本日の流れ

1. 開 会

2. 令和2年度実施3団体の事業報告

① 釜ヶ崎支援機構、② HELLOlife、③ やんちゃまファミリーwith

3. 令和3年度の公募説明

4. 閉 会

村上様ご紹介

村上世彰 氏

現在シンガポール在住の投資家。

1959年大阪府生まれ。

1983年から、通産省などにおいて16年強、
国家公務員として務める。

1999年から2006年までファンドを運営。

ファンド運営時代より社会貢献活動を行い、

2007年には非営利組織に想いのある資金がもっと流れる仕組みを作るための中間支援組織としてNPO法人チャリティ・プラットフォームの設立を全面的に支援し、寄付者兼アドバイザーに就任。

2017年には、より直接的な社会貢献のプラットフォームとしてファミリー財団である一般財団法人村上財団を設立し、創設者として積極的な活動を行っている。



あいりん地域の不安定労働者就職・居住支援



実施団体

NPO法人 釜ヶ崎支援機構 (大阪市)



釜ヶ崎支援機構

事業概要

住まいと仕事を喪失した若い世代に対し、生活再建を目指して住居提供を行うとともに、孤立を防ぎ、社会とのつながりを回復していく「ひとりにさせない支援」(日常生活支援)を実施。また、大阪府が安定就労、常用雇用の促進・定着化に向けて支援。

事業規模

10,500千円
(資金提供：3,330千円、自己調達：7,170千円)

活動実績

- クラウドファンディング「#ほっとかへんで大阪」を村上財団の寄付金が2倍になるマッチングギフトを活用。
目標金額：10,000千円。 募集期間：令和2年6月29日から令和2年9月25日までの約3か月。
寄付金額：7,170千円が集まり、村上財団の寄付金3,330千円を加え、10,500千円の事業として実施。
- 居住・生活支援：10室を確保。20代～50歳代男性6人と20代～40歳代女性3人の9人が入居中。(令和3年2月10日現在)
- 就労支援：令和2年12月に金属製造会社へ男性1名(56歳)が常用雇用。令和3年1月に警備会社へ男性1名(52歳)が常用雇用。令和3年1月から、公園清掃会社で男性1名、その他清掃現場で男性2名の合計3名が職場体験を実施中。



令和3年度の居住・生活支援は支援経過により20室まで追加を検討。また、大阪府は、就労支援枠を20人から30人に拡大予定。

府営住宅を活用した若者への就職・居住支援



実施団体

NPO法人HELLOlife (大阪市)



HELLO life

事業概要

コロナ禍で失業・住居が不安定な状況等になった15~39歳の若者を対象に、府営住宅の空室を活用して、住居の提供（家賃等無料）と就職のサポートを実施する事業。事業参加者を選定後、住居を提供し、就職に向けた研修、企業への応募に向けたサポートなどを行う。就職後は、定着支援をしていく。

提供サービス

- ・住居提供（プライベートスペース+コミュニティスペース）
- ・コミュニティ形成支援（月に一度の食事会・自治会活動サポート）
- ・短期研修（就職支援&DIYプログラム）、定着育成サポート（定期面談等）

事業規模

10,000千円
(資金提供：5,000千円、自己調達：5,000千円)

活動実績 (1月末)

10月から準備を進め、12月より正式申込開始。
中吊り広告やSNS広告、動画広告など多方面に広報を行い、
応募・問い合わせ件数は22件。選定を進め、3名の入居者が決定。
残り3名の目標に向けて、2次募集中。
メディア掲載・放送件数8件／YouTube動画視聴数 209,944回再生



(上) コミュニティスペースで談話する参加者
(左下) 自治会の月に一度の清掃活動 (右下) 自室をDIYする参加者

今後、コロナ禍による失業等で影響を受ける「住」と「職」の支援が合わさったセーフティーネットのモデルや、住宅等地域における資源を有効活用した就業支援の持続可能な仕組みづくりをめざしていく。

高校と連携した子ども食堂の追加実施と子どもを見守る活動



実施団体

NPO法人やんちゃまファミリーwith



事業概要

コロナ禍による収入減等で「生活がしんどくなった」との保護者の声を拾い、府立松原高校と連携して生徒とともに行う子ども食堂を追加で実施。また、子どもをちいきで見守りながら困りごとサポートを行う「お弁当宅配食」、「親子に笑顔をおすそわけまつばらフードパントリー」を新たに実施。



事業規模

10,000千円

(資金提供：4,000千円、自己調達：6,000千円)



活動実績

【成果】 コロナ禍での困りごとを傾聴し、ちいきにおいて必要な家庭にサポートを実施中。
(10月～1月の実績) 松高きっちゃん のべ 228人参加、お弁当宅配 計 1522食・フードパントリー 計804個

【今後】 * 子ども食堂開催数をプラス3回の実施予定 (通常8回のところ、11回)
* 引き続き、お弁当宅配食・フードパントリー事業の周知と実施

親子が安心安全で暮らせる住居や環境づくりのサポート・子どもをちいきの中で育てる仕組み作りへ

ご講評

一般財団法人村上財団
創設者 村上世彰 様

本日の流れ

1. 開 会
2. 令和2年度実施3団体の事業報告
3. 令和3年度の公募説明
※公募要領をご準備ください
4. 閉 会

令和3年度公募 概要

事業スキーム



公募概要

➤ 支援内容

資金提供 100万～500万円 (事業規模 200万～1,000万円)

- ・ 集めた寄付金額と同額を村上財団が提供 (マッチング寄付方式)
- ・ 自己資金の調達方法は、原則クラウドファンディング (※)

※クラウドファンディングを行ったことのない事業者は、資金提供先がサポート
(クラウドファンディングサイトへの繋ぎや勉強会のアレンジ 等)

◆ 提供資金の用途 以下の目的には使用不可

- ① 提案事業において発生する以外の人件費
- ② 事務所等の家賃・光熱費等の固定費
- ③ 構成員による会合の飲食費

➤ 対象法人

NPO法人のほか、一般社団法人・一般財団法人(非営利型)、公益法人、社会福祉法人等、**営利を目的としない法人**

➤ 対象事業

府内での実施を予定する、**コロナ禍で顕在化した社会課題**について解決を図ろうとする事業 (※)。

※対象外の事業

- ・ 営利、債務の弁済や基本財産の出捐を目的とするもの
- ・ 宗教上の活動、特定の政治上の主義の推進を目的とするもの
- ・ 活動実績が原則1年に満たない法人が行うもの
- ・ 大阪府内で活動を行っていない法人が行うもの

資金提供について（公募要領 2 P）

◆ 金額決定までの具体的な流れ

下記のタイミングで、申請時の資金提供額から変動がある可能性があります。

- ・ 採択にあたっての**審査・選考で事業規模が適正でない**と判断された場合
- ・ **クラウドファンディングで目標金額まで達成することができなかった**場合

（例）申請時
300万円(事業費600万円)



審査・選考時
250万円(事業費500万円)



資金調達後の最終決定額
200万円(事業費400万円)

◆ 提供資金の振込時期

- ・ **自己調達の寄付金の集まり状況に合わせ、事業開始のために必要な金額の最初の振込**
(最初の振込金額は事業内容や事業にかかるイニシャルコストにより応相談)
- ・ **その後は報告書の収支管理をもとに、およそ四半期ごとに分割して支払い予定**
(執行の際は、事業単独で収支管理を行うなど、明瞭な会計処理をお願いします)

令和3年4月
村上財団との寄付契約



令和3年5~6月頃
最初の振込



9月,12月,3月頃
2,3,4回目の振込

スケジュールについて（公募要領 3 P）

R 3.2.1
受付開始

R 3.3.14
応募締切

R 3.3.15~
審査・選考

R 3.3 下旬
採否通知

R 3.4~6
寄付契約
→資金調達

~R 4.3
事業執行

① 動画撮影

② 事業採択式

③ 成果発表会

大阪府から協力・参加をお願いする事項（予定）

① 動画撮影へのご協力（令和3年4月）

クラウドファンディングのための事業PRの機会として、大阪府で動画を製作。4月に取材・撮影を予定。

② 事業採択式へのご参加（令和3年5月）

採択事業開始のキックオフとして、事業プレゼンを実施。

③ 成果発表会へのご参加（令和4年2月）

1年の取組みの成果や、本事業への参加を契機とした抱負や展望について、事業の更なる周知を図り、支援の輪を広げていくための機会として、来年度の応募を検討しているNPO等に向けて発表。

このほか、事業計画に基づき、四半期に1度（6・9・12・3月末）、活動報告書の提出をしていただきます。報告書の様式については、採択結果通知時にあらためて連絡いたします。

応募方法について（公募要領 4 P）

（1）申請書

- ① 原本と、原本をコピーしホッチキス留めしたものを**3部**を郵送してください。（計4部）
- ② 別途、申請書データ（Excel文書）をkikaku@sbox.pref.osaka.lg.jp宛て送付ください。

（2）申請書に添付する書類（①②③は必須、各1部で可）

- ① 法人の定款、寄附行為、または規約等
- ② 法人の役員名簿
- ③ 直近年度の事業報告書および決算報告書
- ④ 法人が実施した事業を紹介する写真、パンフ、新聞・雑誌の記事コピー等
- ⑤ 提供資金を充当したい経費の見積書あるいは価格表等

（3）申請書の作成および送付時の注意

- ・ 申請書は、添付資料を除き、指定の様式（Excel文書）を使用してください。
※印刷した際に、記入した文章が枠内に収まっているかどうか、必ず確認してください。
- ・ 同一年度の1法人からの申請は1件です（複数の申請はできません）。
- ・ ご提出いただいた申請書および必要書類は、返却いたしません。

応募〆切 令和3年3月14日（日） ※消印有効

審査・選考について（公募要領4P）

1. 選考方法

資金提供先や大阪府、民間委員等からなる運営委員会において審査・選考を行い、令和3年3月下旬に採択事業を決定予定（申請書の内容に関してヒアリングを行う場合がありますので、ご協力をお願いします）

2. 選考基準（下記3項目を勘案し、総合的に判断）

項目	ポイント
事業の必要性・公益性	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍で顕在化した社会課題の解決に資するか・ 社会課題の認識と解決に向けた手法が整合的か （必要に応じ府内自治体や他団体等と連携をとっているか）
事業の実現・持続可能性	<ul style="list-style-type: none">・ 事業の内容や方法、スケジュールや実施体制は妥当か・ 支援を受けることで、事業の発展が見込めるか・ 資金提供の費用対効果は高いか、経費見積もりは妥当か
先進性・モデル性	<ul style="list-style-type: none">・ 既存事業の延長ではない新たな取り組みか・ 従来にない新しい視点や発想、手法が盛り込まれているか・ 一過性の事業でなく、事業の拡大や波及効果が期待できるか

3. 採択件数 最大5件程度 →結果は、決定後（3月中）に申請者に文書で通知します

(参考) クラウドファンディングについて (村上財団からのご紹介)



READYFOR株式会社

日本初・日本最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR」を提供。キュレーター（担当者）がマンツーマンでプロジェクトサポートを行っており、約75%の達成率を誇る。



コングラント株式会社

寄付金のクレジット決済から支援者管理まで、寄付集めに必要な機能が揃ったファンドレイジングツール「コングラント」を提供。クラウドファンディングやマンスリーサポーター募集も可能。

本日の流れ

1. 開 会
2. 令和2年度実施3団体の事業報告
3. 令和3年度の公募説明
4. 閉 会